



ビジネスマンの流儀 ～シャツにこだわる ④

※前回345号では“ネクタイとシャツ/シャツのお手入れ”についてご紹介しています。



徳武 初男氏 (信越支部長)

長野県千曲市に本社を置きシャツ製造販売を事業とする「フレックスジャパン株式会社」で取締役、FS事業部担当役員を務める。長年シャツ業界の一線で活躍。卸部門の営業、SE、生産管理、国内外の直販などアパレル全般に幅広い知識を持つと共に、中国のビジネス事情にも精通している。地元の信州の山々をこよなく愛し、休日は山小屋で過ごす自然派の一面も。ビジネスの話題や日々の暮らしの所感を趣味のスケッチと共に綴ったブログ「里山生活」も好評。

●フレックスジャパン株式会社 <http://www.flexjapan.co.jp/>

●直営ストア(プラトウ) <http://www.flexjapan.co.jp/store.html>

●里山生活 <http://satoyama.naganoblog.jp/>

シャツで楽しむ春先の装い

● 春はパステルカラーを取り入れて

女性と比べて、男性のスーツが季節感に乏しいのは残念なことです。せつかく春を迎えたのですから、男性のファッションにも、春らしい華やきを添えてみてはいかがでしょうか。

そんなときにこそ、シャツの出番です。春の装いのポイントはやっぱり色味。紺やグレー系のスーツでも、シャツに優しい色合いを取り入れるだけで、ぐっと春らしい印象が変わります。

おすすめはパステルカラー。サックス、薄いブルー、ピンクなど、ぜひこの春は、挑戦してはいかがでしょうか。おじさんがピンク?などと恐れることはありません。ピンクはネイビーや黒と相性がいい色なので、スーツと合わせると意外としっかりと落ち着きます。

● 華やかな席におすすめのクレリックシャツ

色シャツに抵抗感のある方、特に中高年の方におすすめしたいのがクレリックシャツ。これは衿やカフスと身頃の生地が色違いになったもので、衿とカフスが白のものが一般的です。牧師の服装に見立ててクレリック(牧師)シャツと呼ぶようになったそうです。衿が白なので、色物はちょっとと思われる方も比較的、抵抗感が少なく着られるシャツです。それでいて品格があり、見た目にもとてもオシャレで爽やかな印象です。身ごろ生地は無地ならピンク系かパープル系、ストライプならパステルカラーのロンドンストライプかペンシルストライプがおすすめ。春はパーティや公の席に招か

れる機会も増えてきます。そんなときにぜひ、袖を通していただきたいシャツです。



クレリックシャツ
左からロンドンストライプ、ペンシルストライプ

● 小物を活用してセンスアップ

スーツファッションで自分らしさを上手に表現できるようになると、いろいろな小物使いにも気を配りたくなるものです。スーツにプラスアルファのアイテムといえば、ポケットチーフがあります。

ポケットチーフの折り方は3種類。ビジネスシーンでも馴染むのはテレビホールドと呼ばれる折り方。四角に折ってスーツの胸ポケットに入れ、1~2センチほど縁からのぞかせます。ゲストより目立たないよう控えめな気配りとして、テレビの司会者などに好まれたことから名付けられた折り方です。ビジネスシーンなら司会をするときや会議でプレゼンを行うときなどにいかがでしょうか。

その他にも、フォーマルな場やパーティなどなら、角が少しずれるように三角形に折って、3つの山をのぞかせるスリーピークス、もう少しカジュアルな場なら自然な形でふんわりとチーフをのぞかせるパフドスタイルといった折り方もあります。その場の雰囲気に合わせて、ポケットチーフの使い分けができれば、かなりオシャレな印象です。

最近はビジネスの場でも、カジュアルな装いをされる方も多いですね。ポケットチーフは上半身にワンポイントができるので、ノーネクタイの装いにもぜひ活用して欲しいアイテムです。



ビジネスシーンで活躍
-テレビホールド



カジュアルパーティに華を添えるパフドスタイル



イラスト: 徳武 初男氏

人を判断する時間は6秒と言われている。他人を6秒で判断する目を養うには、まず、自分がお洒落にもっと神経を遣い、お洒落になること。ここで、ドレスマナーが必要になる。その要素は3つ、「知性」「健康感」「感性」。ドレスマナーとは、お洒落する時の、周囲に対する気遣いのことです。徳武氏と交流が深い、池田ゆう氏(日本メンズファッション協会理事)の言葉より

4回にわたって“ビジネスシーンでのシャツへのこだわり”をご紹介してきましたが、いかがでしたか。

ビジネスマンのスーツスタイルでは、自分が仕事をする集団の中で目立ちすぎない気遣いも必要ですが、会社のカラーを尊重しつつ、個人としてのオシャレを楽しめるだけの技量を磨きたいもの。スーツを社風に合わせて個性を埋没させるのではなく、個を光らせるための最適なアイテムとして、あなたならではのシャツの楽しみを、ぜひ見つけてください。

HUMAN HUMAN プラスは

● eふあみり もあわせてご覧ください!

eふあみり

<http://jp.fujitsu.com/family/honbu/family/>